

| 第2回小牧市緑の基本計画中間評価委員会 議事録 | |
|-------------------------|---|
| 日時 | 平成28年3月11日(金) 午前10時00分～11時30分 |
| 場所 | 小牧市役所東庁舎2階会議室2-2 |
| 出席者 | 評価委員 出席7名 千頭聡委員長、豊田洋一委員、今枝正委員、 落合勝之委員、伊藤和俊委員、山本和彦委員、 渡辺学委員(都市建設部長) 欠席2名 長田宏委員、平林克之委員、 |
| | 事務局 都市建設部・小林次長、みどり公園課・水野課長、 みどり公園課・松浦課長補佐、花と緑推進係・堀場係長、 公園整備係・佐橋係長 |
| | コンサル 国際航業・丸山、久保田 |
| 次第 | 内 容 |
| 1 開会 | ○開会あいさつ →欠席者の報告、資料確認 →委員長あいさつ |
| 2 議題 | 以下のとおり |
| 議題(1) | 中間評価委員からの意見総括と対応策について |
| 議題(2) | 小牧市緑の基本計画中間評価報告書(案)について |
| 事務局 | ○資料1、2を用いて、松浦課長補佐より説明。 |
| 落合委員 | <ul style="list-style-type: none"> 報告書の中身が固いイメージがある。例えば、ホテル、メダカ、カンアオイなど市に残されている自然の固有名詞などを盛り込むと、市民に伝わりやすいと思う。関係課にも確認してはどうか。 |
| 伊藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> 小木中央公園について、木を伐採したおかげで明るくなった。まだ、古く大きな木も残っているので、今後ともお願いしたい。 |
| 山本委員 | <ul style="list-style-type: none"> 意見は適正に取り扱っていただいていると思う。一点。公園管理については、既に婦人会や老人会など関係団体にも声をかけており、手持ちの戦力を使い果たしている状態での意見ということで認識していただきたい。 総括に対する具体的なものをどうするか。落葉樹も市民により善し悪しで、それをどう対応するのか。例えば、地域のワーキングで検討してもらい、その流れで公園管理もやってもらうことも考えられる。 公園の管理費を新たな財源と考えている人もいるようなので、そういう人材をうまく活用できると良い。 |

| | |
|-------|--|
| 今枝委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・落合委員と同じだが、コラムなどにより報告書のイメージが固くならないようにすると良い。 ・私の地域から見ると、他の地域は公園が多くてうらやましいという感じもする。いずれ緑は永続的なものなので、コツコツ取り組んで行くことが必要か。鎮守の森など地元には管理しないといけない緑も多いが、どうすれば、継続できるかを考えないといけない。 ・維持管理活動に参加する人も増えてきたが、PRの仕方やボランティアなどへの声かけをもっとする必要があると感じる。 |
| 豊田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園が自分のものになっていない感じがする。緑と関わるのが楽しいということ、個人レベルで落とし込むことが必要だ。公園ワーキングは大事であり、団体の代表ばかりでなく、個人にも参加を促す必要がある。 ・そのために公園ルールづくりは重要であり、個人レベルの管理や規制ばかりでなく、こう使って欲しい、こう使うんだみたいなものが盛り込まれると良い。 ・東京の世田谷区では、大きな組織だけでなく、3軒からはじまる緑化といった小さな緑づくりに対し、個人レベルへの支援や助成をしている。 ・適正な管理とあるが、「適正」という言葉は何が適正か判断が難しく、適正＝苦情処理になってはいけない。緑を楽しむ人向けになると良い。 ・さきほどの3軒からの緑づくりにも専門家によるアドバイザー派遣をしているらしい。ちょっとした取組みでもアドバイザーがつくと効果があがる。 ・公園で緑をつくるのも利用のひとつ。管理を仕事にせず、楽しめる形ができると良い。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用と管理の問題について、いろいろと意見が出たが市としてはどう考えているか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘は大事だと考えている。団体としては行き詰ってきているところもあり、個人レベルも含めて仕組みや手法を今後、地域のルールづくりなどに反映したい。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価報告書のイメージをやわらかくしてほしいという意見もあったが、現計画自体も見直すのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画書自体を修正することはないが、中間評価報告書については、具体的な動植物名を入れて、読みやすいよう配慮する。 |
| 落合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・木を剪定する際に、ムチャクチャな切り方をしているところもみられ、木を大切にするという意識が低いと思う。また安易に除草剤をまいたりしている。剪定する際にも木を大切にするという意識がないといけない。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・管理する立場としても、どうしても落ち葉とか日陰とか苦情の対応が多くなってしまっているのが現状。公園の近くに住んでいる人の状況もあると思うが、意識を変えてもらうことは良いことかもしれない。 |

| | |
|-------|---|
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘とともに、緑を愛する人を育てていくことも必要である。管理だけを意識するより発想を変えたほうが良いかも。地域ごとにどういう風に対応していくかのルールづくりは今後進めるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、どんな人に集まってもらって、どんな風に進めるのかについては検討中であるが、今後各地区で進めていきたいと考えている。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域によっても緑に対する意識が違うので、ルールも地域毎で違って良いと思う。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・市がルールを押しつけるのではなくて、地域自らルールづくりができるような支援の方法を検討している。 |
| 豊田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷のプレイパークでは、地域のルールにより自由に使ってもよいが、その代わり自己責任ということである。 ・ネコじゃらし公園では、雑草を管理せずに逆に楽しむコンセプトとしており、場所によってニーズも違うと思う。公園ではなく、公共・私の共園でも良いのではないかと。与えられた公園ではなく、自由度のあるルールができると良い。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋では、公園内で野菜を作って、野菜の花を楽しむ公園という取組みがあった。公園内で野菜はダメだが、花ならOKという発想もおもしろい。 |
| 落合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園の少ない地区から言わせると、苦情をいう人はぜいたくな苦情だと思うので、不必要に対応することはないと思う。公共空地が近くにあることのメリットをもっとPRする必要もある。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・1ページ目の総括は、下の4つは評価というより、今後取り組まないといけない課題になっている。 |
| 豊田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・1ページ目の総括については、つなぎの文章を入れると分かりやすくなるのでは。 |
| 豊田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・30ページの表の今後の推進欄にある矢印がなにを意味しているのかが分からない。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容のものが前のページに書いてあるということを表現している。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのページと同じ内容をそのまま入れても良いと思う。 |
| 山本委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップのやり方はもう少し工夫してほしい。今のやり方では意見が誘導されやすい。 ・アダプトの募集などについても、虫や魚、花などもう少し興味をひくものを前面に出しながらPRした方が良い。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の散歩などにも、アドバイザーを派遣して生き物学習をすとかのソフトの取組みも大事である。 |
| 豊田委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・親水空間とか緑視効果といった言葉も固い感じがして市民にはイメージしにくいのではないかと。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画書本体の表現については、次回の改訂時などにはやわらかい表現にするよう心がける。 |
| 千頭委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・残りの5年間の進め方が大事。前回、今回の意見の主旨をしっかりと踏まえて進めてほしい。 |

| | |
|-------|--|
| 3 その他 | <p>○今後の進め方について事務局より説明。</p> <p>→本日の意見を踏まえて中間評価報告書を再度修正し、千頭委員長、豊田副委員長に見ていただき、確定したものを再度、各委員には文章で伝える。</p> <p>→最終的には市のホームページ等で公表する。</p> |
| 4 閉会 | 閉会あいさつ |